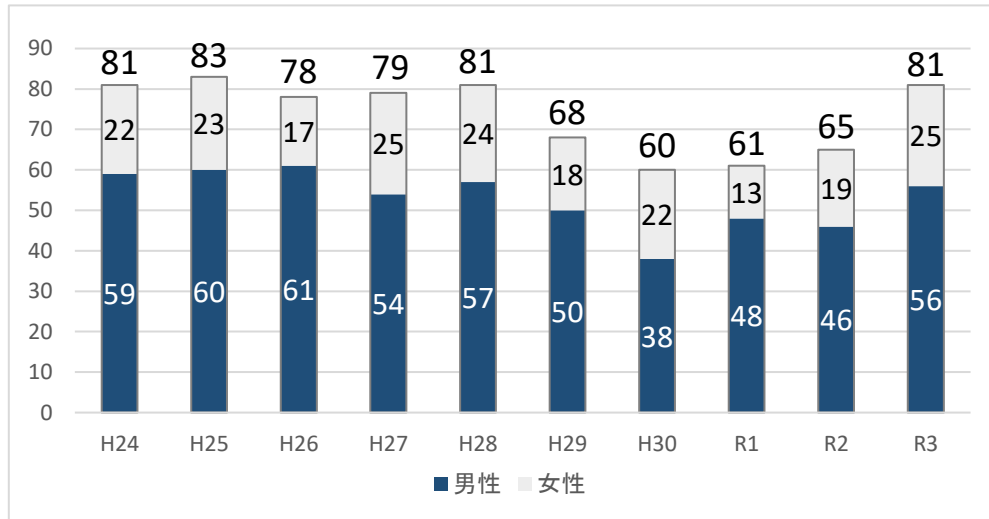


倉敷市における自殺の概要

①自殺者数・男女別自殺者数の推移

(単位:人)



令和3年の自殺者は前年から16人増加し81人で、男女別に見ると69.1%が男性でした。

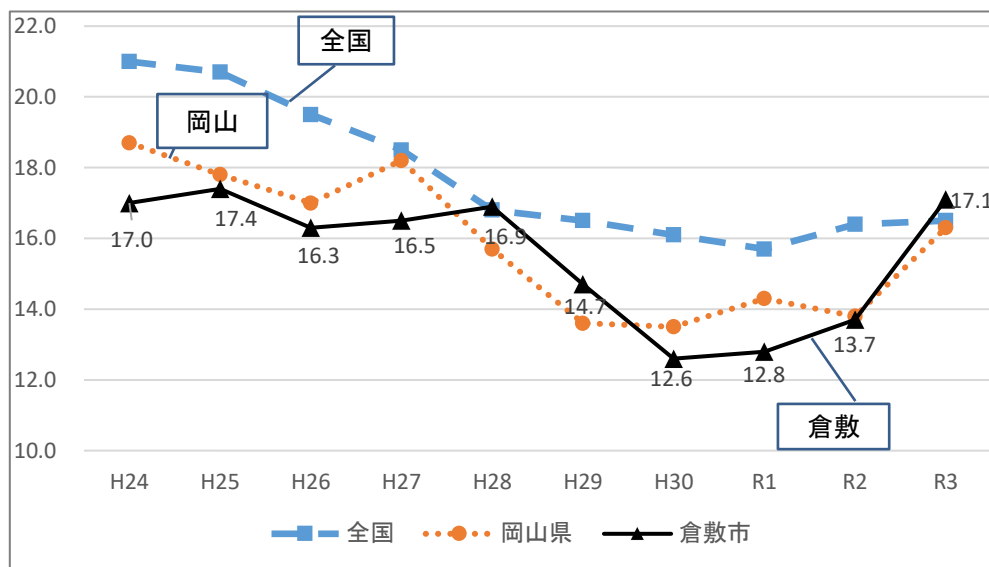
(単位:人)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
総数	81	83	78	79	81	68	60	61	65	81
男性	59	60	61	54	57	50	38	48	46	56
女性	22	23	17	25	24	18	22	13	19	25

資料：人口動態統計（厚生労働省）

②自殺死亡率の推移

(単位:人口10万人対)



令和3年の倉敷市の自殺死亡率は、前年より3.4ポイント高くなっています。岡山県や全国よりも高い状況となっています。

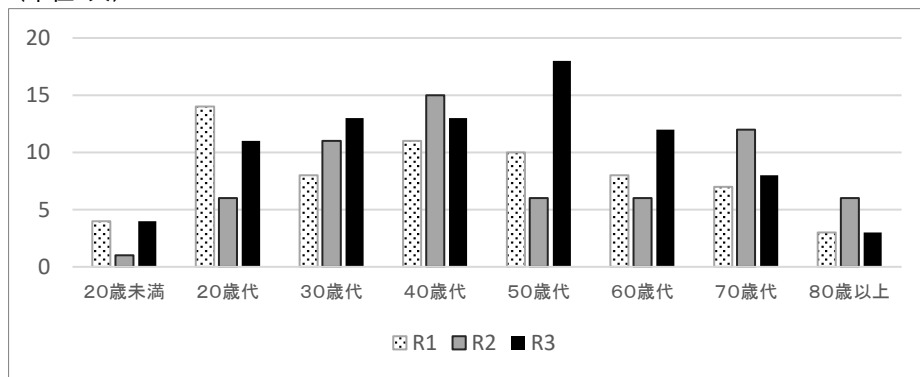
全国、岡山県、倉敷市 自殺死亡率(人口10万人対)と()内数字は自殺者数 (単位:人口10万人対、人)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国	21.0 (26,433)	20.7 (26,063)	19.5 (24,398)	18.5 (23,152)	16.8 (21,017)	16.5 (20,465)	16.1 (20,031)	15.7 (19,425)	16.4 (20,243)	16.5 (20,291)
岡山県	18.7 (360)	17.8 (340)	17.0 (324)	18.2 (346)	15.7 (298)	13.6 (264)	13.5 (254)	14.3 (266)	13.8 (257)	16.3 (301)
倉敷市	17.0 (81)	17.4 (83)	16.3 (78)	16.5 (79)	16.9 (81)	14.7 (68)	12.6 (60)	12.8 (61)	13.7 (65)	17.1 (81)

資料：人口動態統計（厚生労働省）

③各年代の自殺者数(R1～R3)

(単位:人)

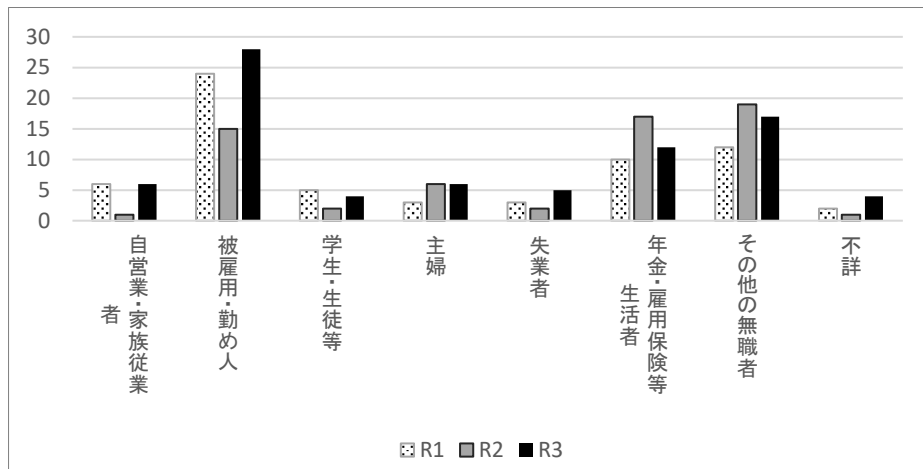


各年代の自殺者数をみると、令和3年は「50歳代」が最も多くなっています。

資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）※

④職業別自殺者数(R1～R3)

(単位:人)

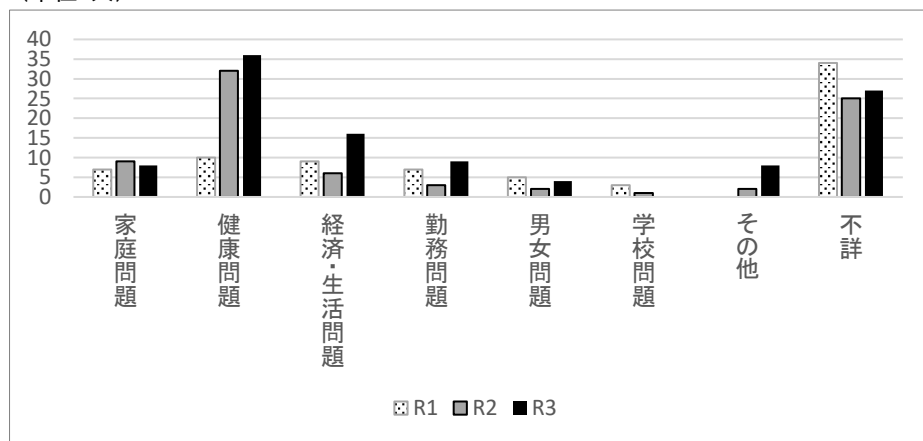


職業別でみると、令和3年は「被雇用・勤め人」が最も多く、次いで「その他無職者」、「年金・雇用保険等生活者」の順となっています。

資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）

⑤原因・動機別自殺者数(R1～R3)

(単位:人)

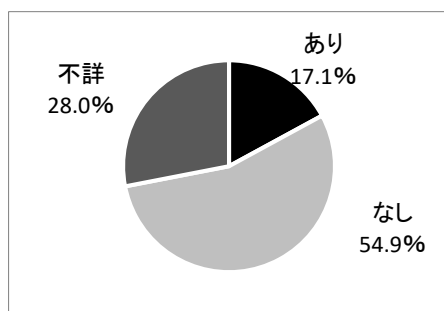


原因・動機別では、令和3年は「健康問題」が最も多く、次いで「経済・生活問題」、「勤務問題」の順となっています。

注) 原因・動機を1人につき3つまで計上可能とした数のため自殺者数とは一致しません。

資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）

⑥自殺未遂の有無 (R3)



自殺者の17.1%に自殺未遂歴があります。

資料：地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)

※「地域における自殺の基礎資料」とは、警察庁から提供を受けた自殺原票データを、厚生労働省が再集計したものの、人口動態統計の自殺者数とは異なります。